

城郭における全国唯一の球面石垣  
 とっとりじょうあとてんきゅうまる まきいしがき  
 ～鳥取城跡天球丸『巻石垣』～

鳥取城跡天球丸の『巻石垣』は、石垣の崩落を防ぐことを目的に、江戸時代の終わり頃に築き足されたものです。同様の目的で築き足された石垣は国内各地の城跡で確認されていますが、いずれも角を持った石垣です。しかし、鳥取城跡のように、角を持たない球面の石垣は、確認事例がなく、全国唯一の大変珍しいものです。是非、ご覧ください。



復元前

復元前の『巻石垣』は、中央部が大きく崩落していましたので、絵図などを参考に全面を復元しました。



現在の様子

■なぜ球面の石垣なのか？

江戸時代、球面の石垣は、河川の護岸や堤防、港の突堤を築く際に用いられました。鳥取城跡の『巻石垣』は、何らかの理由で、こうした技術が応用されたのではないかと指摘されています。

■天球丸の“球”との関連は？

天球丸とは、鳥取城の山麓部分の最高所（標高51m）に所在する敷地の名称です。この名称は、慶長5（1600）年の関ヶ原合戦後に城主となった池田長吉の姉・天球院の居所があったという伝承に因みます。従って、高い所に球面の石垣があったため、天球丸という名称が付いたものではありません。

アクセスマップ



※ルート上には一部工事仮設道のため滑りやすくなっている部分がありますので十分に注意して下さい。

※天球丸の広場からは、巻石垣と市街地が一望できます。

【問い合わせ先】鳥取市教育委員会文化財課  
 〒680-8571 鳥取市上魚町 39 番地  
 電話：0857-20-3359 / FAX：0857-20-3050  
 E-mail：kyo-bunka@city.tottori.lg.jp